

星屑

2016 年 7 月号

No. 496

7 月 2 日（土）から
一般公開再開！！

7 月 5 日（火）望遠鏡搬出
35cm シュミカセ設置予定！！



火星 2016 06 09

火星 20cm 反射

がんばるばい 熊本！ 熊本県民天文台

7/2(土) から

県民天文台の 一般公開を再開 します！

当面、土曜日の夜だけ、一般公開を行います

団体向けや 出張観察会は、曜日にかかわらず可能な限り実施



チェーンブロックでつり上げ、倒れた望遠鏡を分解



観測室の南端にC-11シュミカセを仮設置

6/11(土)、午後、トークアバウトを開催 今後の方針について討議しました



■ 倒れた望遠鏡を再使用するか？

一番最初に討議したのは、このことです。41cm反射望遠鏡は、北向きに倒れ、外観上は大きな損傷もなかったもので、再び引き起こして、転倒しにくいような対策を施せば、何とか使えるのではないかという見方もありましたから。

再使用した場合に予想される問題は、(1) 転倒時の衝撃でウームギ

アなどがダメージを受けていて、望遠鏡の追尾や駆動に障害が出る可能性が高いこと。(2) ドイツ式赤道儀+ニュートン式鏡筒では、階段を使って高い位置で観察するので地震時には危険であること。(3) 一度倒れているわけですから、多少くらい補強策をとっても、地震があれば再び倒れたり破損したりする可能性が高いこと。(4) 活断層帯の活動はまだ収束しておらず、今後も地震が続くと想定されること(「公開中に地震あり」が前提)、などです。

■ 望遠鏡は再使用しない

運営委員は、「倒れた望遠鏡は再使用せず、安全第一の視点で、新しい一步を踏み出す」という意見でまとまりました。今後は、経緯儀式の架台でシュミ・カセ系の光学系などを採用。

来台者やスタッフが観測室の床面で観察・観測できるよう、基本的な運用法を変更することにしました。

とはいっても、すぐに新しい望遠鏡を発注できる状態にはありません。

まずは、これまで出張観測会で使ってきたMS-4赤道儀+C-11シュミ・カセ鏡筒を、観測室の南端に仮設置して、どんな感じになるのか、試してみました。

→ これは、ドイツ式赤道儀ですから経緯儀式の架台なら、もっとすっきりするはず。ある程度大きな口径の望遠鏡を据えても良さそうです。三脚ではなくピラー脚にし、コンクリートの床に固定すれば、安全性も確保できそう。それに、観測室がこれまでよりも広く使えそうです。

■ 西村製作所に相談

本震から1ヶ月ほどが経って、観測室の片付けを始めた頃、「倒れない(倒れにくい) 構造の望遠鏡はあるか?」と、株式会社西村製作所宛てにメールを出して、問い合わせをしました。そうしたら、いろいろとアドバイスを下さって、6月5日(日) に県民天文台に来台して下さいました。私(艶島)と副台長の小林寿郎氏とが対応に当たり、現状を見ていただきながら、様々な課題についても意見を交換。その結果、県民天文台の一般公開再開に向けて、最大限の支援をしていただけることになりました。

おかげで、地震によって大きな被害を受け、天文台の一般公開再開になかなか着手できないでいた私たちも大いに元気づけられました。気持ちの整理や、再開に向けた手順の整理にも見通しが立った感じです。

こうして、まずは、一步、新しい歩みを始めることにしたわけです。

■ 倒れた望遠鏡を搬出する予定

まず、観測室に倒れている望遠鏡を搬出します。まだ日程は未定ですが、西村製作所さんが搬出し仮保管して下さいる見込み。その後、シュミ・カセ系の望遠鏡を、当面は借用して、公開用の主望遠鏡として使用する計画です。

近い将来、最新式の新しい望遠鏡を導入してはどうか? という提案もありました。

この点については、いくつかのプランを提案していただくことにしました。必要な資金の額も重要ですから。当面は、借用する望遠鏡を使って一般公開をおこない、今までとは異なる形式の望遠鏡を使った公開のやり方に習熟しながら、どのように次の一步を踏み出すか、熟慮を重ね、運営委員相互で意見を交換していこうと思います。

■ 7月2日(土)から 毎週土曜日の夜

一般公開を再開します。ただし、公開を担当するスタッフの自宅が地震の被害を受けていたり、居住地域で被災者の支援に走り回っていたりという毎日ですから、公開日を土曜日だけに致します。

一方で、要望の多い出張観察会や団体向けの星の観察会は、これまで通り、スタッフの都合がつく限り受諾するという方針です。今後のスケジュールのページに記載しているように、すでに10件ほどの予定が入っています。「県民天文台が再開した!」というニュースを聞くと、たくさん申し込みが入ってくるのだろうと予想しています。

今年は、豪雨の梅雨と暑い夏の組み合わせになりそうな気配ですから、体調のコントロールに気を配りながら、できるだけ負荷を減らすような工夫をしつつ、活動を展開した方が良さそうですね。



■ 寄せ書きや義援金

滋賀県にあるダイニツクアストロパーク天文館から、写真のような寄せ書きが届きました。

天文館で星の観察を楽しんでいる人たちに呼びかけて寄せ書きを作り、今回の地震で被害を受けた各施設に送って下さったようです。

公開天文台協会（JAPOS）のメーリングリストを通じて、お礼のメールを出し、併せて、一般公開再開に向けた現在の動きも報告しておきました。

また、長崎県天文協会からは総会の際に集まったという「義援金」が届きました。全国各地から寄せられる支援の声に、励まされる毎日です。



■ 新聞社が取材に

6月11日の夕方、トークアバウトが終わった後、朝日新聞の記者さんから電話がかかってきました。「熊本県民天文台の再開に向けた動きを取材したい!」という内容。18時半頃に天文台で待ち合わせして、20時半頃まで取材に対応しました。

「東京育ちで全くの文系です」という記者さん、「プラネタリウムは見たことあるけど、生の星空なんて見たことがない」らしい。

初めのうちは、普通の取材だったのですが・・・、観測室のスライディングルーフを開ける頃から、様子が変わってきました。そして、子どもたちの質問に答えようとして、はくちょう座X-1(ブラックホール)の在処を知り、相棒の恒星が望遠鏡で簡単に観察できることを知った。そこから解説法ががらりと変わった・・・、などという話になると、身を乗り出し目を輝かせて聞き入ってくるのです。

最後は、「7月2日、公開再開の日が楽しみです、ぜひ星をみたい!」と、ニコニコ顔で帰って行かれました。取材の途中では、「なぜ34年も続いているのか?」不思議で仕方ない様子だった記者さん、なんだか急に納得しちゃったようです。

■ 6月3日(金)、避難所で星の観察会

副台長のヒゲさんは、震災ボランティアの指揮を執る毎日。大忙しの中でしたが、火星の接近を逃す手はない! つと、望遠鏡を持って指定避難所になっている城南町の火の君文化センターへ。大々的な事前広報はせず、その場で避難者の方々にお知らせして「星の観察会」開催しました。文化センターからは、構内放送でお知らせできるので、いつでも大歓迎ですと了解をもらっていました。当夜は、30名ほどの方が望遠鏡をのぞき込んで、赤く揺らめく火星などに見入り、大いに楽しんで下さったそうです。「星の観察会」や一般公開の再開が、少しでも地域の方々のお役に立てれば、嬉しいですね。

☆☆☆☆☆☆ **これからの予定** ☆☆☆☆☆☆

7月2日(土)、19:00～ 県民天文台の一般公開を再開！ (毎週土曜)

7月22日(金)、19:00～ 菊陽町ふれあいの森研修センター
火星・土星と夏の星空

7月29日(金)、19:30～ 城南公民館講座
火星・土星と夏の星空

8月6日(土)、19:30～ フィールドミュージアムへ飛びだそう！
火星・土星と夏の星空

8月26日(金) 菊陽町ふれあいの森研修センター
土星と火星、夏の大三角、天の川

8月27日(土) 山鹿市の浄光寺で
土星と火星、夏の大三角、天の川

9月9日(金)、19:00～ 菊陽町ふれあいの森研修センター
半月、土星・火星、夏の大三角、夏の星座、月の撮影

9月10日(土)、19:30～ 県環境センター 「星空観察会」
半月、土星・火星、夏の大三角、夏の星座、月の撮影

9月16日(金)、満月前日(中秋の名月の翌日)、 武蔵丘コミセン
月の観察と撮影

9月17日(土)、 フィールドミュージアムへ飛びだそう！
月を観察して撮影しよう

9月30日(金)、本渡北小学校 「星の観察会」
夏の大三角

☆☆☆ これから、たくさんの予定が入りそうです ☆☆☆

2017年4月の県民天文台 ～運営日誌より～

開台率 4日／14日＝28.57%
一般来台者数 8名

総開台日数 4日
会員来台数 10名

日付	天気	担当運営	来台数	記 事
2 日 (土)	晴	中島	2 人	シリウス、ベテルギウス、リゲル、M42,M45,M41, 木星 曇るかと思ったらすっきりと晴れて、熱心に見て行かれました。木星の撮影で盛り上がりました。
8 日 (金)	晴	西嶋 小林 J	0 人	晴れたけれど寝ぼけた空。木星はきれいでした。
9 日 (土)	曇り	中島 中島 小林 J 艶島 高田 西嶋 小林 M	6 人	木星 菊陽から来台されたお客さんから観測会についての相談がありました。 Talk About 星屑発送、総会について 運営について 毎週、金・土・日の運営を土・日の週 2 回にすることに決定
1 0 日 (日)	曇り	艶島	0 人	雲が広がって微妙な天気 改題したけど来台がありませんでした。

※ 5月の一般公開は休止しました。

「星を見る会」 in避難所

ひげ

いつも天文台の総会でお世話になっている「火の君総合文化センター」は、熊本地震で被災した人の避難所になっている。研修室など使える部屋はすべて避難所として開放されている。城南公民館も同じ場所にあるため、公民館講座なども開催できない状況だった。天文台も被災して、いつ運営を再開できるのか分からない状況なので、外に出かけての一般公開を考えていた。それならいっそのこと、この避難所で「星を見る会」を開催できない

いかと考えた。

早速、2カ所の避難所に出かけて行って相談すると、快諾していただいた。お天気が相手なので、特に大げさな準備をせずに、天気がいい日に望遠鏡を1台もって出かけることにした。

しかし、思いがけず災害ボランティアセンターが地元城南町に設置されて活動をはじめたので、そのお手伝いに参加することになった。ついつい忙しさにまかされて、なかなか「星を見る会」まで手が回らなかった。

第1回星を見る会 6月2日(木) 接近中の火星を見よう!

19:30-21:00 約30名

この日、少し早くボランティアセンターの仕事が終わった。天気も良かったので、帰りに文化センターによって望遠鏡を下ろして置いた。しっかりと冷やしておきたかったからだ。午後7時過ぎに再び文化センターに来て準備を始めた。今回はC-8、1台のみの運営である。館内放送が流れると、ぽつぽつとお客さんがやってくる。最初は木星から観望。100倍で見る木星だが、まずまずの反応だった。特に衛星に興味を引かれた様子だった。その後、火星や土星を見て終了。意外と好評で、30名ほどの方が見て行かれた。

次は月ですねと約束して帰った。



第2回星を見る会 6月13日(月) 月を見て撮影しよう

19:20-21:20 約25名

今回は、ほぼ上弦の月を観察することにした。またまた直前の思いつきのため、望遠鏡を冷やす時間が無い。というのも、C-8一式は車にいつも積みっぱなしなのだ。そこで、今日は10cm屈折を持って行くことにした。F10なので月を見るのには最適だし、見た目も大きいので良さそうだと考えた。赤道儀の三脚を変更したので安定性も十分だった。予想通り、月の撮影会となってしまったが、皆さん大いにはまって撮りまくりの状態だった。その後、木星、火星、土星を観察して終了。来週には仮設住宅の入居が始まるので、いつまでできるのかは分からないが、もう少し続けていきたいと思う。



小さな望遠鏡はスポル
ティングスコップをポル
タ
に載せたモノ



平成28年熊本地震により被災された皆様方に、心よりお見舞い申し上げます。
大地震から約2ヶ月、なんかあつという間です。いや、まだ余震は続いているので、治まっている訳ではないですが。台風だったら、過ぎるのを待てば良いですが、地下で何
が起きているのか判りませんので、余計不安です。どうか早く治まりますように。

☆ 7 月の天文現象 & 行事 ☆

- 2日(土) アルデバラン(0.9等)の食(福岡:明縁から潜入 14:05→15:04)
天文台一般公開再開(雨天・曇天中止)
- 4日(月) 新月(20:01)
- 5日(火) 地球が遠日点通過(01:24 152103775km)
- 7日(木) 七夕
水星が外合(09:17 -2.2等 視直径05.2")
小暑(しょうしょ・・・暑氣に入っていよいよ暑くなる)
- 8日(金) 冥王星が衝(03:25 14.1等)
- 9日(土) 月と木星が大接近 ヘビ座R星が極大(5.2~14.4等 周期356日)
トークアバウト(20:00~ 変更の場合あり)
- 12日(火) 上弦(09:52)
- 13日(水) 天王星が西矩(10:47 5.8等、視直径03.5")
- 16日(土) 月と土星が接近
- 20日(水) 満月(07:57)
- 22日(金) 大暑(たいしょ・・・一年で最高の暑さ)
- 24日(日) はくちょう座U星が極大(5.9~12.1等 周期463日)
- 27日(水) 下弦(08:00)
ケンタウルス座T星が極大(5.5~9.0等 周期91日)
- 28日(木) みずがめ座δ南流星群が極大のころ
- 29日(金) 城南公民館講座「火星・土星と夏の星空」
- 30日(土) やぎ座α流星群が極大のころ

特定非営利活動法人熊本県民天文台機関誌 「星屑」 2016年7月号 通巻496号
発行所 熊本県民天文台事務局 〒861-4226
熊本県熊本市南区城南町塚原2016番地 熊本県民天文台
TEL 0964-28-6060
振替口座 01700-5-105697
NPO熊本県民天文台事務局
天文台ホームページ <http://www.kcao.jp/> メールアドレス astro@kcao.jp
メーリングリストの加入申し込み受付中 kcaohige2003@yahoo.co.jp 中島まで